

第 4 回東浦町総合計画審議会【第 2 部会】 会議録

会 議 名	第 4 回東浦町総合計画審議会【第 2 部会】	
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 30 日（月）第 4 回審議会【全体会】終了後	
開 催 場 所	勤労福祉会館 会議室 2	
出 席 者	委員	【アドバイザー】 千頭 聡 【部会長】 久米 賢治 【委員】 加藤 龍雄、神谷 英一、小山 真弓、杉浦 義治、田島 由美子、都筑 一男、戸張 里美、外山 淳恵、二宮 立 美、米島 竜雄
	事務局	教育長、総務部長、健康福祉部長、教育部長、会計管 理者、建設部次長、企画政策課長、企画政策課企画政 策係主査、企画政策課企画政策係主事、第 6 次東浦町 総合計画策定支援業務受託業者
議 題 (公開又は非公開の別)	1 議事 基本計画（部門別計画）について 2 その他	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	
傍聴者の数	3 名	
審 議 内 容 (概 要)	議題の審議内容は、別紙のとおり	
備 考		

【議事要約】

開会

事務局	(開会、資料の確認)
-----	------------

1. 議事

基本計画（部門別計画）について

部会長	健康・社会福祉について意見はどうか。
委員	避難所について、障がいを持った方は子どもが奇声を発することがありうるさいと言われることが想定される。また、体の悪い方がいるなど一般の方と離れないといけないので、福祉避難所に入ることになる。しかし、福祉避難所が各地域の近くにあるなら良いが、勤労福祉会館など町内で数か所となると、誘導することは大変な仕事になる。これが夏季となると更に難しい。
部会長	文章として入れるのか検討が必要である。
委員	足腰が悪い人に、避難勧告が出た時にどうするか問題である。近くの避難所に行って欲しいと言っているが、健常者から文句を言われた時に、指定の避難所で、どんな連絡をすれば協定をした施設に移動できるのかなどのルール作りをして欲しいと思っている。このことについて、町でどのように考えているかお聞きしたい。
事務局	地域防災計画では、通常の水害であれば、地域のコミュニティセンターを開設し、足りなければ順次公共施設を使っていくことになる。福祉避難所は勤労福祉会館などになるが、直ぐに開設ではなく、先ほど委員が言ったようなことが発生した場合に、開設し移って頂くことを想定している。総合計画では、通常避難所を書くこととなる。運営マニュアルとしては、福祉避難所を行政だけで運営できるわけではないので、運営の仕方を協議している。小学校についても役場や自主防災会、学校で協議している。福祉関係では、健康福祉部と協議して進めていくことにしている。
委員	家で寝ている高齢者の避難をするにあたっては色々な障害がある。また、避難所には高齢者や車いすの方、様々な障がい者のある方、奇声を発する人や寝たきりの方と様々おり、教室毎に分けるなど上手くしないと避難所は運営できない。言葉で言うのは簡単だが、認識頂きたい。
委員	コミュニティセンターを使って、障がい者の団体の方などと

	避難訓練を実施した。地元のコミュニティや自主防災会、各コミュニティから数名出て頂いたが、主体がなく横にも繋がっていないと感じる。防災として、「誰もが安心して」というのが実感できると良い。障がい者はじっとしてられないということを知って欲しいということでやったが、障がい者のいる家庭では家を空けて出られなかったり、通常のスプーンは使えなかったりすることを、一般の人も知識を持たないといけないと思った。
部会長	計画には入っているのか。
事務局	防災の中では記載していない。発災後、初動、方向性など、進め方の細かい行動に関することをどうしていくのかを、防災計画の中で謳っていくが、実際に福祉防災の中でどうしていくのかということは問題である。福祉課としては、同じ目線で暮らせるのが一番良く、赤ちゃんが泣くことや障がいのある方の行動を迷惑だと思わないように、理解を町民に求めていきたい。ただし、災害発生時にはそういうわけにはいけないので、皆さんの意見を汲み取りながら、現実的なところで考えていかなければならない。
部会長	色々な災害での対応を参考にできれば。
委員	防災だが、ペットの避難が問題になっているが、東浦町でのペット避難がどうなるのか分からないので、教えて頂けたらと思う。
部会長	防災の方で答えていきたい。
委員	各避難は自主防災会の方が主に行っている。各区の自主防災会がマニュアルを作っていく時期だと思うが、弱者の立場に立ったマニュアルは出来ていないので、そういう面を取り込んだマニュアルにして欲しい。運営する住民が理解してもらえるような自主防災になって欲しいと思っている。
部会長	組織的なものは作っていないといけない。 公共施設マネジメントについて意見はどうか。
委員	第3回審議会資料2のP114にある個別施設計画の作成状況が分かっていないので、教えて欲しい。
事務局	総合管理計画は作っているが、個別施設計画は今後策定予定であり、現在はまだ無い状況である。公共施設など、建設が同時期となっているため、耐用年数が60年のものを80年とすることで山を平準化してバラツキを解消していきたいと考えている。なお、子どもの数が減ってくるので、施設の複合化を図り、

	その面積の減少を図るという基本方針を持っているが、具体的なものは無い状態である。
事務局	町としては施設毎に、統廃合、再配置を考えていきたい。個別に謳っていくのか、マネジメントで一括としてやっていくのか、施設管理者がそれぞれにて個別で作成すべきか、どちらがいいのかは検討する必要があると思う。なお、個別に行うと統廃合などは出てこない。
委員	総合的に進めて頂いた方が分かりやすい。
委員	人口が減った時に、新しく施設を更新するというのは難しい。建物を様々な人が使っても良いとしていけば、使う人が固定化されることをなく、公共施設を少なくできる。西部中学校では、開放を行ったことで問題があった。学校を建設する当初から、ここまでは一般の人が入れるというようにしていけば混乱もなく、お互いに歓迎できる状態になったと思う。半田市では、小学校を高齢者施設と併設しようという話があった。1つの施設に様々な施設を集約することで、障がい者などへの理解も深まるように思う。日頃から様々な人が利用できるようにできると良い。知多市の南粕谷は大きな学校だったが、空き教室だらけで、一般の方も使って良いということになった。使うことを考えて作れると良いのではないかなと思う。
部会長	静岡県焼津市では公民館なども一緒になっている事例があったので、複合施設を新しく作る時に検討してみてはどうか。
委員	第3回審議会資料2のP24の子ども支援について、保育施設の整備ということでは、改定して欲しい。現状は教室施設の中にトイレがあり、臭いが充満している。悪臭があるのが現状である。取組として、「保育施設を整備する」というのをに入れて欲しい。また、「過ごしやすい環境を整えます」というのをに入れて欲しい。
委員	新しく作り直す時には良いと思うが、改築・改修は難しい面もあるので、よく考えて複合化をやって頂きたいと思う。窓の無いトイレのある体育館もあるが、臭いの問題がある。記載としては、「年次計画に従い環境整備します」で良いと思う。全体の計画から見てじっくりやって欲しい。
部会長	学校教育について意見はどうか。
委員	東浦から世界にという教育が望ましい。スポーツ、頭脳ともに、そのような環境づくりを行いたい。
委員	「地域と学校が一緒になって」という所で、「夢のある学校づ

	くりを目標として、知恵を出し合い、地域の未来づくりにつながる特色ある学校づくりを進めます」と繋げた方が良いのではないかと思う。
委員	長いように感じる。
委員	「特色ある学校づくりを進めます」ではどうか。
事務局	長いように感じる。
委員	知恵を出し合いまとめられると良いのではないか。
委員	目標ではなく概要説明の部分と言っていた。人づくりが未来づくりに繋がる方が良い。
委員	外を見てこないと、地域を変えることなどできない。
部会長	目標のタイトルについて、足すかコメントに入れるかどちらがよいか。
委員	下の文章は変えるということで、上の目標も変えることを考えてはどうか。「安全安心」は一般的過ぎるので変えていけたらと思う。特色ある学校づくりは選ばれる町になるためにどうすべきかでは重要である。
事務局	地域との関連や学校の中で、バランス的にどうか。
委員	「安全安心」が現状では出ているので、「世界に羽ばたく」ということを目標で出していけたら良いのではないか。
委員	「世界に羽ばたく」などに出来たらよい。安全安心は一般的すぎる。
委員	「世界に羽ばたく」は、大き過ぎるのではないか。未来に生きていく基礎を養うのが学校教育だと思うので、「未来に生きていく力を育み、特色ある学校づくり」ではどうか。
事務局	グローバル人材の育成として、英語を話せる日本人の育成を目指す中で、小学校3年生から英語の授業が始まっている状況である。こうしたことを盛り込むのかということかと思うが、東浦町の総合計画として入れるのはどうかと思う。特色のある学校で、生きる力、生き抜く力を、体験で実感できる学校づくりを地域とともに実現できたらと思う。
部会長	資料2のNo.27、No.28も同じことかと思うが。
委員	この中で書かれている所と、総合計画が繋がらない。選ばれる町になるために、何を書くべきか。東浦がやってきたオープンスクールや学生を使ったボランティアなどを入れ、その延長線で生きていく力を入れて行けたらと思う。東浦町が他と違うところでアピールできることを入れていけたら良いのではないか。

委員	オープンスペースは全ての学校にあるのか。
事務局	最初から整備しているのは緒川小学校と石浜西小学校のみである。今は熱中症対策などが出てきており、オープンスクールが足かせになってくるように思う。子どもの特性は様々で、狭い方が落ち着く子もおり、1時間ほど穏やかな時間を過ごせる場を作ることが大切であることから、オープンスペースはこれから重要かというところでもないようにも思う。
委員	オープンスペースが出過ぎるよりも、特色を出した方がいい。そういう意味では目標も普通で良い。
事務局	オープンスペースは、発表する場合など良い面がある。地域で参画してもらう時も、発表の場として使うことができ、グローバル人材を育てるということでは発表する力をつけるなどの部分では良いと思う。
委員	特定の学校名を出さずに、今ある現状を利用してできるとでいいので、学校名を消して頂いた方がいいと思うが。
部会長	プログラミングなどでオープンスペースは必要になると思う。 防災について意見はどうか。
委員	今週末は、台風の関係で、車の中にペットを避難させた。家族になっているペットは、人間にとっても重要になってくる。高齢者においても子どもがわりにペットを飼っているということもあるので、今後考えて頂けたらと思う。
部会長	解決策はないような気がする。優先順位をつけた時に後になってしまうのが現実なように思う。
事務局	避難所運営マニュアルでも謳っているが、防災訓練の中でも、ペット同行訓練をしたこともある。アレルギーを持っている人等もいるため、ペットなどはゲージで別の場所に避難して頂く。大型犬などは別でエリアを設ける。環境省のマニュアルではそのようになっている。
部会長	近隣市町との災害の連携を検討するということを入れておくべきかと思う。
事務局	石川県野々市市、愛知県新城市、宮城県柴田町、2市1町とやっている。応援をして欲しいと言えば応援を頂けることになっている。今回の豪雨災害では応援要請があったので、岡山県倉敷市に応援に行っている。また、東広島に派遣して欲しいという要請が県を通じてあったので、応援することになっている。なお、東日本大震災の時には岩手県大船渡市に年間を通じて応

	援を行った実績もある。これらについては、取組 2 として記載している。自衛隊等の応援については地域防災計画の中で記載している。減災では、第 3 回審議会資料 2 の P58 の「住民の役割」で住民の役割防災意識向上などを書かせて頂いている。
委員	避難所だけでなく、車中で避難している人が多いが、車を止める場所としてホームセンター、スーパーなどを借りるなど提携をしていないということだったが、そのようなことをする予定はあるか。
事務局	場所はそこまで至っていない。物資などについては必要などところと連携しているので、今後は考えていきたい。あいち健康の森などを使わせて頂けるかが問題になるように思う。イオンとの場所や物資の協定や、スギ薬局及びVドラックなど、既に連携しているところであり、今後も協定や連携を予定している。
委員	離れた地域の方は避難所などに行けない方もいると思うが、コンビニの提携はあるのか。
事務局	愛知県が帰宅困難者の協定をしている。町独自ではガソリンスタンドが帰宅困難者対策への情報や飲み水を提供することになっている。地域では避難所が各地域に分散しており、各地域に集まって頂くことになる。
事務局	物資の配布は避難所に行くことになる。
委員	避難についてのルールがないと、各避難所に誰もが車で避難すると混雑して駐車できないのではないかな。
事務局	渋滞で避難できなくなる可能性があるので、徒歩が基本となる。車での対策は今後町でも考えていきたい。
部会長	その他何かあるか。
事務局	学校教育の目標と施策についてなど、ご意見を頂きたいと思う。8月6日、来週の月曜日までに頂きたい。取組 4 で「学校名を入れなくてもいいのでは」などあったが、これらについても意見があれば頂きたい。全体会であった、全体構想の P4 での「ちょうどいい」は、知多市が使っているのは知っているが、最初に使っていたのは東浦という思いもある。違う言葉などがあれば意見をいただけたらと思う。修正したものを出していきたいが、日数がかかるので早めに頂けたらと思う。また、指標も新たに提示しているので意見頂けたらと思う。
委員	最近、東浦では「どんぴしゃ」という言葉も出てきているが。
事務局	P R 映像で使っているが、知多市ちょうどいいを使っているので、配慮して違う言葉を選んだ面もある。総合計画で「どん

	ぴしゃ」は使いにくいと思っている。
--	-------------------

閉会

事務局	(閉会)
-----	------